

「第8回路面電車のある風景フォトコンテスト」

審査結果

主催	全日本写真連盟広島県本部
応募者数	39人
応募点数	132点
審査・講評	関西本部委員 弓場 康廣

推薦

「おはよう! 元気」朝枝 加津子(フォトシャッセ支部)

手を振る自転車の母親。静止した電車と対比して元気があって屈託のない動きに好感をもちます。電車の陰に浮かび上がる帽子と手、路面の自転車の影、いい光です。



特選

「突然の雨で」道又 俊治

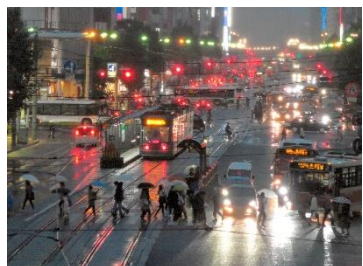
(兵庫県・フォトクラブみなづき)

左手に傘一本。大切な人を迎えに行くのでしょうか。電車のライトが雨と人物と傘を照らし降雨の激しさを映し出しています。素足にスリッパが突然の雨を物語り、混み合った車内の描写も的確です。



「雨の交差点」此本 健一郎 (呉支部)

窓ガラス越しの撮影でしょうか。画面のにじみが雨の夜を表現しています。赤いランプが一斉にとり画面をせわしく横に行き交う帰宅途中の人々が、停留所の人のない椅子、乗客のない電車の寂しさと対照的に描写されています。



入選



「始発駅」鴨野 昭夫(佐伯支部)



「日没の煌めき」荒川 純一(佐伯支部)



「春うらら」玉田 一雄(広島支部)



「優先席」野本 洋一郎(広島タウン支部)



「ドームと電車」原田 今朝弘(広島支部)



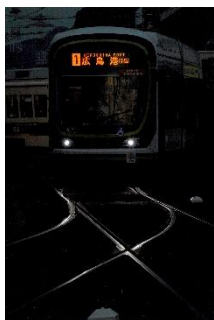
「鎮魂のタペ」飯國 清(広島支部)

準特選

「光る軌道」
三戸元子

(フォトジェヌ支部)

電車のランプに浮かび上がるレール、冷たく金属的な質感が不気味さ放って印象の強い作品となりました。露出を抑えた撮影が効果をもたらしています。



「待つ」
安田 慶子

(広島タウン支部)

電車到着直前までスマホの画面を見つめる人物が街灯に浮かびあがっています。路面電車とともにある生活、日々繰り返される一人の若者の家路が捉えられています。



「横断中」西尾 紀美子(広島タウン支部)

車椅子を押す人物。それを見守る電車の運転手。望遠レンズの圧縮効果とやさしい描写、柔らかい光で安全を気遣う女性の気配りを捉えた作品です。

